

# 世界をリードする森林大国日本へ

## 100万人就業を創出し、大産業を創造する

ビジョン達成に向けて、以下の12のプロジェクト(PJ)を立ち上げ、セクターを超えたメンバーと協働し、全国各地で事業を進めています。今後、新しいプロジェクトを積極的に立ち上げながら、分散型のより大きなネットワークを構築していきます。

### ■既にキックオフを終え、始動したプロジェクトリスト (2016年9月27日時点)

#### 【1】自治体実装加速PJ

自伐型林業で就労するグループづくりを全国で面的に進めていくため、フォーラム、研修など基礎自治体への政策実装を加速化する。

#### 【2】担い手育成PJ

自伐型林業での就労や移住を促進し、既に従事している林業家たちを育成する仕組みを構築し、持続的な暮らしの実現をサポートする。

#### 【3】広葉樹施業PJ

日本の森林面積の約6割を占める広葉樹の施業方法、それにとまって生まれる森業(森の副業)をモデル化し、全国各地へ展開する。同時に、家具メーカー等と協働し、新たな流通体制を構築する。

#### 【4】大規模山林分散型PJ

個人、自治体、企業などが持つ大規模山林を分散化し、そこに地域や移住による就労希望者が入り、施業する山守型の山林経営モデルを構築し、広く展開する。

#### 【5】相続税対策PJ

山林所有者が世代を超えて山林経営を行う際ハードルとなる高い相続税を、「持続的生業」を行っているという条件付けにおいて低くする等法案制定を目指す。

#### 【6】山林バンクシステムPJ

就業希望者や研修等を経て自立を目指す自伐型林業従事者と保有山林を手放すもしくは貸したいと思っている山林所有者をつなぎ、国土保全、環境保全、地方創生に寄与する新しい山林流通の仕組みを構築する。

#### 【7】無垢材流通開発・拡大PJ

建築家、ハウスメーカー、アーティスト等と広く積極的に協働し、無垢材をライフスタイルに組み込んでいく方法を生み出し、利用・流通を拡大する。それを通じ、山にしっかりお金が戻る循環を構築する。

#### 【8】地域福祉・コミュニティ運動PJ

林業や森業と福祉をつなげることで、障がい者や高齢者の就労や参加の機会を創出すると同時に、自伐型林業を生業として移住した若手が地域福祉の担い手となることをモデル化し、広げる。

#### 【9】国家政策実装・環境評価PJ

自伐型林業の進展を後押しし、就労者の自立や持続性を支援する林業、地方創生、環境、税制等に関する国家レベルでの法整備を進め、その基礎となる環境・就労における客観的評価を研究者と協働し、構築する。

#### 【10】伝えるPJ

都市部で暮らす多くの人たちに対して、「自伐型林業」が実現する新しい中山間地域の暮らし(リアリティ)や、水源や河川など自然に対する価値、地域としての価値を表現し、訴求していく。

#### 【11】広報・資金調達PJ

自伐型林業が核となり生み出されていく新たな価値、次の時代の暮らし方を、メディア等と協働し、相手に伝わる形で積極的に広報し、ムーブメントを起こしていく。同時に、事業に必要な資金を調達する。

#### 【12】学校教育PJ

自伐型林業が幅広い年齢層に浸透し、これから農林業を志す人材の基礎的知識として定着することを目指す。「森のようちえん」などより広い教育の取り組みとも連携していく。